仕　　様

消費電力（50Hz ／60Hz）	1.27 kW ／1.32 kW
高周波出力	700～170 W相当
発振周波数	2,450 MHz
電源	交流100 V（50 Hzまたは60 Hz専用）
質量（50Hz ／60Hz）	12.8 kg ／12.3 kg
外形寸法	幅488 mm×奥行368 mm×高さ279 mm
庫内寸法	幅315 mm×奥行353 mm×高さ206 mm（丸皿：直径285 mm）
消費電力量の目安	
区分名※2	A：単機能レンジ
電子レンジ機能の年間消費電力量	58.8 kWh ／年
年間待機時消費電力量	0.0 kWh ／年
年間消費電力量	58.8 kWh ／年

※区分名は省エネ法に基づき、機能、加熱方式、および庫内容積の違いで分かれています。

- コンセントに電源プラグを差した状態で、表示部が消灯しているときの消費電力は0Wです。（表示部「0」表示のときは約1.5W）
- 年間消費電力量（kWh ／年）は省エネ法・特定機器「電子レンジ」新測定法による数値です。
- 実際にお使いになるときの年間消費電力量は周囲環境、使用回数、使用時間、食品の量によって変化します。
- この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。

愛情点検　**長年ご使用の電子レンジの点検を！**



こんな症状はありませんか	●丸皿が回転しない。 ●電源コードやプラグが異常に熱くなる。 ●異常なにおいや音がする。 ●ドアに著しいガタや変形がある。 ●触ると電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中止	事故防止のため、ご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて販売店へ点検をご依頼ください。

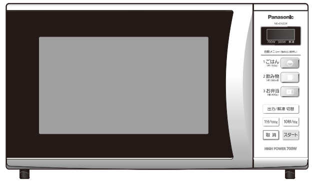
パナソニック株式会社　キッチンアプライアンスビジネスユニット

〒525-8520　滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

レシピなど、お役立ち情報を満載！パナソニックのホームページ
http://panasonic.jp

F0003-9V80
F0911-0
Printed in China

Panasonic®



品番NE-TH224、NE-S380Fは、操作部のボタンの色が若干異なります。

取扱説明書

家庭用　電子レンジ

品番 NE-EH224　品番 NE-TH224
品番 NE-S380F

もくじ



ご使用前に

使いかた

必要なときに

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

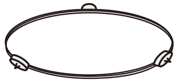
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■**ご使用前に「安全上のご注意」（3～8ページ）は、必ずお読みください。**
■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。取扱説明書は必要なときにお読みください。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください。（裏表紙ご参照）

付属品・別売品

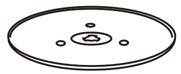
付属品

回転台
部品品番: A290D6S10XP



常に庫内底面に置いて使います。
この上に丸皿をセットしてください。

丸皿
部品品番: A0601BA00EP

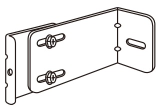


回転台の上にセットしてください。

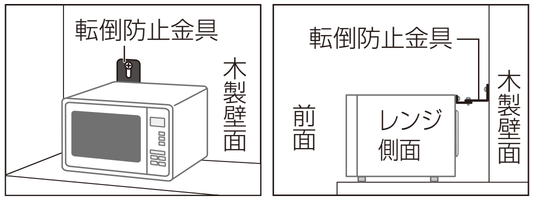
別売品

転倒防止金具C
（電子レンジと木製壁面とを
固定する金具）

品番: A195A-1K20
希望小売価格: 1,050円（税込み）
※地震対策としてもお使いください。



●設置イメージ



希望小売価格は2011年8月現在

※付属品や別売品は、販売店でお買い求めいただけます。
また、パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご確認ください。

CLUB Panasonic
PanaSense http://club.panasonic.jp/mall/sense/

■自動電源オフ機能

しばらく操作をしなかったとき、自動で電源が切れます。（「0」表示が消える）
電源が切れる時間は加熱したメニューなどにより異なります。（約2～6分）

■電源を入れるには

通常は、電源プラグを差し込むと電源が入ります。
自動電源オフ時は、ドアを開閉すると電源が入ります。（表示部に「0」と表示します）

「M」表示モード（店頭用モード）: 表示部に「M」と表示されているときは加熱できません。 ➡ P.11
【解除方法】① 出力/解凍 切替 ボタンを1回押す。 ② スタート ボタンを4回押す。
③ 取消 ボタンを4回押す。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容です。
⚠	気を付けていただく内容です。

⚠ 危険

自分で絶対に修理・分解・改造をしない
感電や発火、異常動作によるけがのおそれがあります
故障した場合は
お買い上げの販売店にご相談ください。

吸気口・排気口（➡ P.10）**製品のすき間に針金などの金属物や異物、指を入れない**
高圧部があり、感電やけがのおそれがあります
異物が本体に入ったら
まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 警告

設置するとき

吸気口・排気口（➡ P.10）**はふさがない**
火災の原因になります
ごみ、ほこりなどで吸気口・排気口がふさがれないようこまめにお手入れしてください。

水のかかる場所では使わない
感電や漏電の原因になります

定格周波数で使用する
機器が破損して、火災の原因になります
（定格表示は、本体の右側面にはってあります）

アースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに、感電のおそれがあります
アース線は
●アース端子に接続する。また、転居などの際も忘れずに取り付ける。取り付けかたは➡ P.10
●ガス管や水道管、電話や避雷針のアースなどと、絶対に接続しない。（法令で禁止されています）
●アース端子がないとき、湿気が多い場所、水けのある場所では、アース工事が必要。➡ P.8

⚠ 警告

食品の加熱時は

食品を加熱しすぎない

発火や発煙のおそれがあります

●以下の場合、自動で加熱しない
　●指定分量※以外の食品
　➡レンジ（手動）で様子を見ながら加熱する。

※指定分量はメニューによって異なります。
　各ページを参照してください。

レンジ（手動）で加熱するときは、設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱する

食品の分量に対して、加熱時間が長いと、発火や発煙のおそれがあります

●特に、少量の加熱時、油脂の多い食品・液体、さつまいもなどの根菜類の加熱には気を付ける。

飲み物などの加熱時、やけどを防ぐために（突沸などに注意）

飲み物などを加熱しすぎない

加熱後、取り出したあとに、突然沸とうして飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります

●牛乳、コーヒー、お茶、ジュース、水などを自動であたためるときは、必ず、（2 飲み物）ボタンを押して加熱する。➡ P.13
●お酒はレンジ700Wで様子を見ながら加熱する。➡ P.18



油脂の多い食品・液体※や、粒入りスープを加熱するときは以下の方法で加熱する

加熱後、取り出したあとに、突然沸とうして飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります

●ラップをして、レンジ500Wで様子を見ながら加熱する。

※ バター・生クリーム・オリーブオイルなど

ほ乳ビン、ベビーフード、介護食をあたためるときは、加熱後、かき混ぜてから温度を確認する

やけどのおそれがあります

レンジ（手動）で加熱するときは、設定時間を控えめにする

加熱しすぎると、加熱後、取り出したあとに突然沸とうして飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります

容器は、広口で背の低い容器に8分目まで入れる

少量の加熱は沸とう、沸とうによる突然の飛び散りの原因になります

加熱前、加熱後は必ずスプーンでかき混ぜる

加熱後、取り出したあとに、突然沸とうして飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります



⚠ 警告

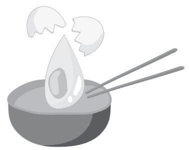
加熱時の破裂を防ぐために

ゆで卵（殻付き・殻なし）は加熱しない

加熱中、加熱後に破裂によるけが、やけどのおそれがあります

卵は必ず割りほぐす

破裂によるけが、やけどのおそれがあります



ぎんなんなど、殻や膜のある食品は割れ目を入れる

破裂によるけが、やけどのおそれがあります

ビン・容器のふたや、ネジ式のせんは外す

破裂によるけが、やけどのおそれがあります

●密閉状態にならないようにする。
●レンジ用のふたをするときは、すき間をあける。

電源プラグ・電源コードなどは

電源コードや電源プラグを傷付けない

（加工する、排気口などの高温部に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、はさみ込むなど）

傷付いたプラグは使わない

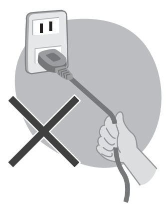
破損による感電、ショートして火災などの原因になります
修理は販売店にご相談ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電のおそれがあります

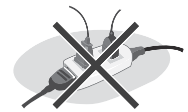
電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かない

感電や、ショートによる発火のおそれがあります



電源は、延長コードを含め、定格15A以上・交流100Vのコンセントを必ず単独で使う

異常発熱の原因になります



〈タコ足配線は禁止〉

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電や発熱による火災の原因になります
ゆるんだコンセントは使わないでください。

電源プラグのほこりは、乾いた布で定期的に確実に取る

ほこりに湿気がたまり、絶縁不良で火災のおそれがあります

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

絶縁劣化で火災の原因になります

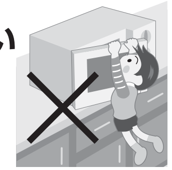
次ページへつづく

⚠ 警告

次の点もご注意ください

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど、感電、けがのおそれがあります

ドアに乗ったり、ぶらさがったりしない
電子レンジが転倒、落下し、けがのおそれがあります



ドアと本体が接する部分および、その近傍が損傷したときは修理が完了するまで作動させせない
電波漏れの原因になります
※すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

本体のお手入れは、電源プラグを抜いてから行う
感電のおそれがあります

異常・故障時には

直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く
発火や発煙、感電のおそれがあります

異常・故障例
- ●丸皿が回転しない。
- ●電源コードやプラグが異常に熱くなる。
- ●異常なにおいや音がする。
- ●ドアに著しいガタや変形がある。
- ●触ると電気を感じる。

※すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

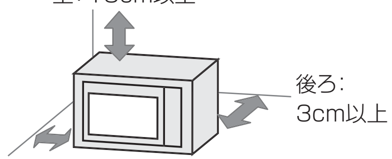
設置について

転倒や落下をさせない
けが、感電、電波漏れの原因になります
- ●不安定な場所に置かない。
- ●置き台からはみ出さない。
- ●ドアに無理な力を加えない。

●転倒防止金具C（別売）をご利用ください。➡ P.2

万一、転倒・落下したら
外部に損傷がなくてもそのまま使用せず、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

本体上面、壁との間は下記以上の距離を確保する
間をあけないと、壁などが過熱して発火することがあります



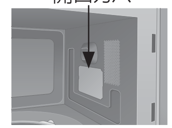
●5面で囲まれたところには設置しないでください。

⚠ 注意

発火・発煙を防ぐために、ご使用前に確認する

庫内に付着した油や食品カスを放置したまま加熱しない
発火や発煙の原因になります
●特に開口カバー部に付着した汚れはすぐにふき取ってください。

開口カバーを外さない
火花が出て、発火や発煙の原因になります
※加熱中、開口カバー部から電波が出ています。



ご使用前に確認する

調理以外の目的には使わない
過熱により、発火や発煙、やけどのおそれがあります

庫内の包装材は取り出す
焦げや変形、発火の原因になります

金属容器などは使わない
火花が出て、発火や発煙のおそれがあります
●金あみや金ぐし、金属製の焦げ目付け皿は使わない。

鮮度保持剤（脱酸素剤）などを取り出す
発火や発煙のおそれがあります

ドアは

物をはさんだまま使わない
電波漏れの原因になります

加熱中や加熱後に水をかけない
ガラスが割れて、けがの原因になります

加熱中、加熱後は

万一、庫内で食品が燃えたり、煙が出たらドアは開けない
酸素が入り、勢いよく燃えます
●次の処置をして、鎮火を待ってください。
①［取消］ボタンを押す。
②電源プラグを抜く。
③燃えやすい物を、本体から遠ざける。

万一、鎮火しないときは
水や消火器で消火し、必ず、お買い上げの販売店へご相談ください。

次の場合、熱い容器や蒸気、飛まつに気を付ける
やけどのおそれがあります
- ●ドアを開けるとき
- ●食品を取り出すとき
- ●ラップやふたを外すとき

丸皿に衝撃を加えない
破損して、けがをするおそれがあります
●特に食器の出し入れのとき丸皿のふちに当たらないようにしてください。

加熱中は、庫内を時々確認する
発火や発煙のおそれがあります
●特にプラスチック容器など、燃えやすい容器を使うときは注意する。

次ページへつづく

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

お弁当をあたためるときは

ふた・ラップを外し、ゆで卵やアルミケース、調味料類も取り出す
火花が出たり、破裂によるけが、やけどのおそれがあります

使用上のお願い

設置場所は

■**本体は、テレビやラジオ、無線機器(無線LANなど)やアンテナ線から4m以上離してください。**
画像や音声の乱れ、通信エラーの原因になります。

アースの工事が必要なとき

本体価格には工事費は含まれていません。
■**電源コンセントにアース端子がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。**

■**次の場合は、電気工事士の資格のある者による、施工「D種接地工事」が法律で義務付けられています。**
●湿気の多い場所:
飲食店の厨房や酒、しょうゆの貯蔵庫、コンクリート床など
●水けのある場所(漏電しゃ断器も取り付ける):
生鮮食料品店の作業場など水の飛び散る所、土間・地下室など結露の起きやすい所など

調理のときは

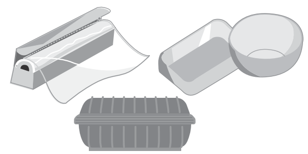
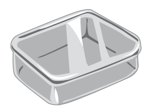
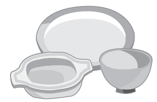
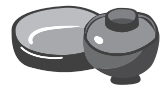
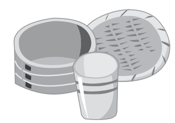
■**缶詰(金属容器)や、レトルトパウチ食品(包装の一部にアルミを使用)は、別の容器に移して加熱してください。**
ただし、レンジ加熱可と書かれたレトルト食品については、パッケージの指示に従って加熱することができます。

■**庫内に食品などが入っていない状態で、動作させないでください。**
異常高温による故障の原因になります。容器や付属品だけでも動作させないでください。

調理後は必ず

■**庫内に付着した油や食品を放置せず、庫内が冷めてから必ずふき取ってください。**
(さびの原因になります)

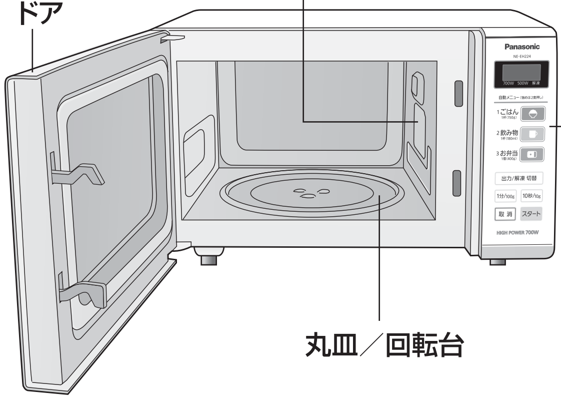
使える容器・使えない容器

ガラス	耐熱性がある 	○	**使えます** 高温になる料理は急熱、急冷に強い耐熱ガラス製容器をお使いください。
ガラス	耐熱性がない 	×	**使えません** カットガラスや強化ガラスも溶けたり、割れたりします。
プラスチック・ラップ・シリコン容器	耐熱性がある (耐熱温度140℃以上) 	○	**使えます** ●ふたには熱に弱い物があります。 ●次の物は使えません。 ・油脂や糖分の多い食品(高温になります) ・密閉したふたや袋 ・「電子レンジ使用可能」表示のない容器
プラスチック・ラップ・シリコン容器	耐熱性がない (耐熱温度140℃未満) 	×	**使えません** ●高温になり溶けます。電波で変質する容器(ポリエチレン、メラミン、フェノール、ユリア樹脂など)も使えません。
陶磁器・漆器	陶器・磁器 	○	**使えます** ただし、色絵や、ひび・金銀模様のある器は傷んだり、火花が出たりすることがあるので使えません。
陶磁器・漆器	漆器 	×	**使えません** 塗りがはげたり、ひび割れたりします。
金属	アルミ・ホーローなどの金属、アルミホイル 	×	**使えません** ●金網や金ぐし、金属製の焦げ目付け皿なども使えません。 ➡ 安全上のご注意 P.7
その他	紙製品や木、竹製品 	×	**使えません** ●針金を使っている製品は、燃えやすくなります。 ●耐熱加工されているクッキングシートなどはパッケージの指示に従って使えます。

各部の名前

開口カバー※（カバーは外さないでください。）
※加熱中、開口カバー部から電波が出ています。

ドア

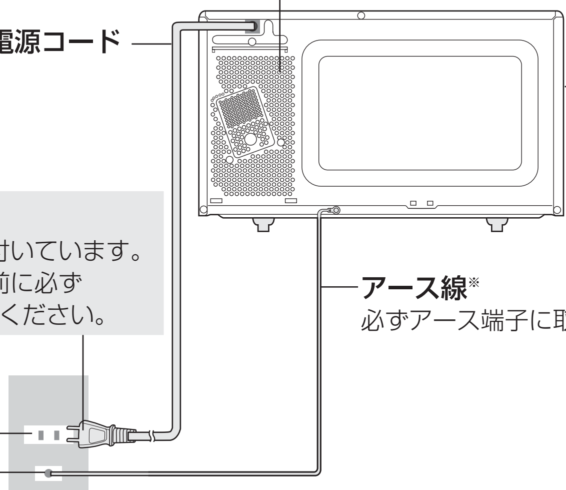


操作部

丸皿／回転台

吸気口

電源コード



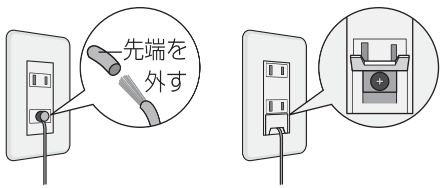
排気口
（左側面）

電源プラグ
プラグキャップが付いています。
プラグを差し込む前に必ず
取り外し、廃棄してください。

アース線※
必ずアース端子に取り付ける

電源コンセント

アース端子

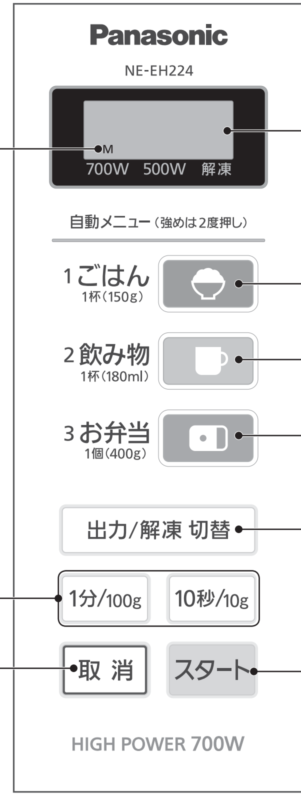


ふた付きの場合は開けて、つなぐ

※アース端子がないとき、
アース線の長さが足りないときは、
お買い上げの販売店にご相談ください。

※本書で記載しているイラストは品番NE-EH224で説明しています。
NE-TH224、NE-S380Fは操作部のボタンの色が若干異なります。

操作部



表示部

「M」が表示されているとき
店頭用モードのため、加熱できません。
【解除方法】
①（出力/解凍 切替）ボタンを1回押す。
②（スタート）ボタンを4回押す。
③（取消）ボタンを4回押す。

自動メニューボタン
ごはんボタン ➡ P.13
飲み物ボタン ➡ P.13
お弁当ボタン ➡ P.14

時間・重量ボタン
レンジ（手動）の加熱時間、解凍重量の設定に使います。
➡ P.15～17

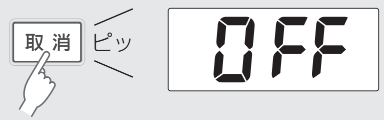
出力/解凍 切替ボタン
レンジ（手動）の出力／解凍の切り替えに使います。
➡ P.15～17

取消ボタン
操作を取り消す／加熱を中止するときに使います。
- 加熱途中、できばえを確認したいときは（取消）ボタンを押さず、ドアを開けて確認します。ドアを閉め、（スタート）ボタンを押すと加熱を再開します。

スタートボタン
加熱をスタートする／再スタートするときに使います。

ブザー音を消したいときは

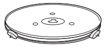
操作音、加熱終了音など、すべてのブザー音が消せます。



2秒間押す。（3回くり返す）
2秒間押すごとにピッと鳴ります。

- 「OFF」表示され、3秒後、「0」表示に戻ります。
- ブザー音を鳴らすときは、消したいときと同じ操作を行います。

自動メニューであたためる

付属品 

●自動メニューであたためるときは、必ず下記のページをご覧ください。
気を付けていただきたいこと、上手にお使いいただくためのコツなどを掲載しています。
[1 ごはん] ➡ P.13 ／ [2 飲み物] ➡ P.13 ／ [3 お弁当] ➡ P.14

●仕上がりは、食品の状態(大きさ、保存状態など)によって異なります。

1 ごはん／飲み物／お弁当を入れる

2

■ごはんをあたためるとき
1 ごはん 1杯(150g) を押す

自動 1　50秒

■飲み物をあたためるとき
2 飲み物 1杯(180ml) を押す

自動 2　1分10秒

■お弁当をあたためるとき
3 お弁当 1個(400g) を押す

自動 3　1分20秒

加熱開始

<強め>が選べます

ボタンを2度押すと<強め>となり、加熱時間が長くなります
スタート後、約5秒以内にボタンを押してください。
<強め>の残り時間を表示します。

加熱時間の目安	<標準>	<強め>
ごはん	50秒	1分05秒
飲み物	1分10秒	1分20秒
お弁当	1分20秒	2分00秒

自動 1　1分05秒
「1 ごはん」<強め>

ピーピーと5回鳴ったら

でき上がり

庫内に取り忘れがあると、「ピーピー」と2分おきに
ブザーが鳴ります。(6分間)

1 ごはん



●室温のごはん1杯(150g)をあたためるときに使います。
●冷蔵庫に保存したごはんや、仕上がりを熱めにしたいときは、
<強め>に合わせます。➡ P.12

あたためのコツ

●ラップなしで、あたためる。
●柔らかく仕上げたいときは水か酒をふる。

※冷凍ごはんは [1 ごはん] ボタンで加熱できません。
レンジ700Wで様子を見ながら加熱してください。➡ P.18

■加熱不足のときは追加加熱をする
取り出して混ぜたりして、レンジ700Wで様子を見ながら加熱します。

2 飲み物

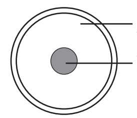


●牛乳、コーヒー、お茶、ジュース、水を1杯(180ml)あたためるときに使います。
●仕上がりを熱めにしたいときは<強め>に合わせます。➡ P.12
●広口で背の低い容器をお使いください。
●加熱前後は必ず混ぜてください。

牛乳・コーヒーのあたためは

●加熱前の温度の基準
牛乳　：冷蔵庫温(約8℃)
コーヒー　：室温(約20～25℃)

置きかた



※お酒は [2 飲み物] ボタンであたためられません。
レンジ700Wで様子を見ながら加熱してください。➡ P.18

■加熱不足のときは追加加熱をする
レンジ700Wで様子を見ながら加熱します。

⚠ 警告

飲み物を加熱しすぎない(突沸に注意)
加熱後取り出したあとに、突然の沸とうによる飛び散りなどでやけどの
おそれがあります
●自動であたためる場合、必ず、本ページの記載に従い、
[2 飲み物] ボタンで加熱する。



自動メニューであたためる（つづき）

3 お弁当

- **お弁当1個（約400g）をあたためるときに使います。**
- **パッケージ「500W」の目安時間が2分以上の場合は、<強め>に合わせます。**➡ P.12

あたためのコツ

あたためかたは

- 包装しているふたやラップを外します。
  外さないで加熱すると、仕上がりが悪くなり、ふたなどが変形するおそれがあります。

あたためることのできるお弁当

- コンビニエンスストアーで売っている幕の内弁当、丼物、スパゲティーなど。
  （ただし、丸皿からはみ出さないサイズ）
- **冷蔵庫に保存した場合は、レンジ700Wで様子を見ながら加熱します。**

あたためることのできないお弁当

- コンビニエンスストアーで売っていても
  1種類ずつ小分けしてあるおそうざい（から揚げ・しゅうまい）、おにぎりなどは
  〔3 お弁当〕ボタンではあたためられません。
  レンジ700Wで様子を見ながら加熱してください。➡ P.18

お弁当の具によりあたたまりかたが異なります

- フライや天ぷらなどの揚げ物は熱めに仕上がります。
- ハンバーグなど厚みのある具は少しぬるめに仕上がります。
- サラダや漬物もあたたかくなります。

■加熱不足のときは追加加熱をする
レンジ700Wで様子を見ながら加熱します。

⚠ 注意

お弁当をあたためるときはふたやラップを外し、ゆで卵やアルミケース、調味料類も取り出す
火花が出たり、破裂によるけが、やけどのおそれがあります

解凍する

肉や魚などの解凍に使います。

例）150gの食品を解凍するとき

1 食品を入れる
- 分量は、100〜500gまで。（100g未満は、食品が煮える場合があります。）
- ラップを外して、発泡スチロールのトレーで解凍。

2 〔出力/解凍 切替〕を2度押す

（表示：g ▼ 解凍）

3 〔1分/100g〕〔10秒/10g〕を押して重量を合わせる
- ボタンを押し続けても設定できます。

（表示：150 g ▼ 解凍）

4 〔スタート〕を押す

↓

ピーピーと5回鳴ったら

でき上がり

庫内に取り忘れがあると、「ピーピー」と2分おきにブザーが鳴ります。（6分間）

■加熱不足のときは追加で解凍する
① 〔出力/解凍 切替〕ボタンを2秒間押し、レンジLo（170W）に合わせる。
② 時間を合わせて、様子を見ながら解凍する。

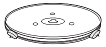
冷凍・解凍のコツ

- 材料は新鮮なものを1回分（300g以下）ずつに分け、3cm以内に厚みをそろえて冷凍します。
- 冷凍庫から出したばかりのカチカチに凍った食品を解凍してください。
- 食品の変色や煮えを防ぐため、身の細い部分は、アルミホイルを巻いてください。
- 発泡スチロールのトレーがないときは、耐熱性の平皿や容器を使用してください。

■次のような食品は、上手に解凍できません。
- 冷凍庫から出して長い間放置した食品
- 冷凍庫から冷蔵庫へ移した食品
- 分量が100g未満の食品

➡ 〔出力/解凍 切替〕ボタンを2秒間押し、レンジLo（170W）で様子を見ながら解凍してください。

レンジ(手動)で加熱する

付属品 

■レンジの出力を使い分けましょう

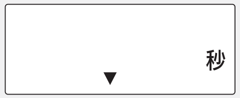
Lo（170W）※	500W	700W
弱火	中火	強火
●追加で解凍する	●冷凍食品をあたためる ●調理する ●野菜をゆでる（下ごしらえ） ●食品をあたためる	●調理する ●食品をあたためる

700W、500W

例)「500W　6分」で加熱するとき

1 **食品を入れる**
食品により、ふた、またはラップが必要。➡ P.19

2 [出力/解凍 切替] **を押して出力を合わせる**
500W: 1度押す



700Wで加熱するときは
② の操作は不要です。
時間のみを合わせて加熱してください。

3 [1分/100g] [10秒/10g] **を押して時間を合わせる**

最大設定時間　15分



- ボタンを押し続けても設定できます。
- 時間を合わせると出力の変更はできません。
  変更したいときは、[取消] ボタンを押して、最初から操作し直してください。

4 [スタート] **を押す**

⬇

ピーピーと5回鳴ったら

でき上がり

- 庫内に取り忘れがあると、「ピーピー」と2分おきにブザーが鳴ります。(6分間)
- 容器や丸皿などが熱くなっています。ふきんや手持ちのミトンなどを使って、気を付けて取り出してください。

⚠ 注意

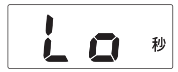
食品・飲み物は加熱しすぎない
発火や発煙、やけどのおそれがあります
設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱してください。

※Lo(170W)

解凍時に追加加熱したいときは、レンジLo(170W)を使います。

1 食品を入れる

2 [出力/解凍 切替] ボタンを2秒間押す。



3 [1分/100g] [10秒/10g] ボタンを押して時間を合わせる。
（最大設定時間　15分）



4 [スタート] ボタンを押す。

■加熱不足のときは追加加熱をする
レンジの出力を設定し、様子を見ながら加熱します。

レンジ(手動)で加熱するときの設定時間

あたためのコツ

- ラップをするときはゆったりとおおう。(破裂のおそれ)
- ラップは加熱後すぐに外す。(食品が変形する原因に)
- 加熱後、容器が熱くなっているので、ふきんなどを使って気を付けて取り出す。
- ごはんやカレー等を冷凍するときは、平たく均一に1人分ずつ包む。
- 市販の冷凍食品などのあたためは、パッケージの指示に従って様子を見ながら加熱する。

⚠ 警告

食品・飲み物は加熱しすぎない

発火や発煙、やけどのおそれがあります
飲み物は、加熱後取り出したあと、突然の沸とうによる飛び散りなどでやけどのおそれがあります
設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱してください。

	出力	メニュー名	分　量	加熱時間	加熱のポイント	ラップ・ふた
あたため(室温・冷蔵)	700W	冷やごはん	1杯(150g)	約40秒～1分	柔らかく仕上げたいときは水か酒をふる。	—
		どんぶり物	1人分(350g)	約2分30秒～3分		有
		カレー・シチュー	1人分(300g)	約3分～3分30秒	深めの容器に入れて、加熱途中と後に必ず混ぜる。 レトルト食品は、パッケージの加熱方法に従う。	
		野菜の煮物	1人分(150g)	約1分30秒		
		しゅうまい	8個(150g)	約1分	包装などを取り、深めの容器に入れる。	
		肉まん・あんまん	1個(70g)	約30秒	容器にのせる。あんまんは、あんの方が先に熱くなるので注意する。	
		牛乳・コーヒー	1杯(180ml)	約1分～1分20秒	背の低い広口容器を使う。加熱前後に必ず混ぜる。	—
		お酒	1本(180ml)	約40秒～1分	背の低い、ずんぐりとした容器を使う。 加熱前後に必ず混ぜる。	
		みそ汁	1杯(150ml)	約1分30秒	加熱後に必ず混ぜる。	
		野菜いため	1人分(200g)	約2分～2分30秒	乾いている場合、加熱前にバターかサラダ油を加える。	—
		スパゲティー・焼きそば	1人分(250g)	約2分～2分30秒		
		バターロールなど	1個(30g)	約10秒	加熱後、時間がたつと固くなるので食べる直前に。	
		まんじゅう	1個(60g)	約10秒		
		お弁当	400g	約1分20秒	ふたを外し、ゆで卵やアルミケース、調味料類を取り出す。	
	500W	粒入りスープ	1杯(180ml)	約1分30秒～2分	加熱後に必ず混ぜる。必ず、ラップをする。	有
		焼き魚・ハンバーグなど	1個(80～90g)	約40～50秒		—
		天ぷら	3個(150g)	約30～50秒	重ならないように皿にのせて加熱。	
あたため(冷凍)	700W	ごはん(固まり)	1杯分(150g)	約2分～2分30秒	ラップに包み、容器にのせて加熱。	有
		カレー・シチュー	1人分(300g)	約7～8分	深めの容器に入れて、加熱途中と後に必ず混ぜる。	
		しゅうまい	12個(170g)	約3分～3分30秒	包装などを取り、水にくぐらせてから容器に入れ、加熱。	
		ピラフ(パラパラの物)	1人分(250g)	約3分30秒～4分	加熱前、よくほぐし容器に入れる。加熱後必ず混ぜる。	
		肉まん・あんまん	1個(70g)	約1分	底の紙を取り、水にくぐらせてから容器にのせて加熱。	
		お好み焼き	1袋(300g)	約4～5分		
		ハンバーグ	1個(90g)	約2分～2分30秒	ソースは別にあたためる。	
		ミックスベジタブル	100g	約2分～2分30秒	加熱後、混ぜる。	
野菜をゆでる	700W	ほうれん草*	200g	約1分40秒～2分	葉と茎を交互に重ね、ラップでぴったり包む。	有
		キャベツ	100g	約1分30秒～2分	水けを残し、ラップでぴったり包む。	
		グリーンアスパラガス*	100g	約1分～1分20秒	穂先と根元を交互にし、ラップでぴったり包む。	
		なす*	100g	約1分40秒～2分	大きさをそろえて切り、塩水につけておく。	
		ブロッコリー*	100g	約1分30秒～2分	小房に分け、塩水につけておく。	
		かぼちゃ	200g	約2分30秒～3分	やや厚めに大きさをそろえて切る。	
		じゃがいも	1個(150g)	約3分～3分20秒	加熱後、少し蒸らす。切って加熱するときは、皮をむき 大きさをそろえて切り、重ならないように平らにラップで包む。	
		さつまいも	1本(200g)	約2分30秒～3分		
		にんじん	100g	約2分～2分30秒	薄いいちょう切りにする。角切りのときは容器に入れ、 ひたひたの水を加え、ラップをして加熱する。	

*加熱後、流水にさらして色止めをしてください。

野菜のゆでかた

ラップに包んで丸皿に直接のせて加熱する

■葉菜
ほうれん草



■果花菜
かぼちゃ



■根菜
じゃがいも
- まるごと使うとき

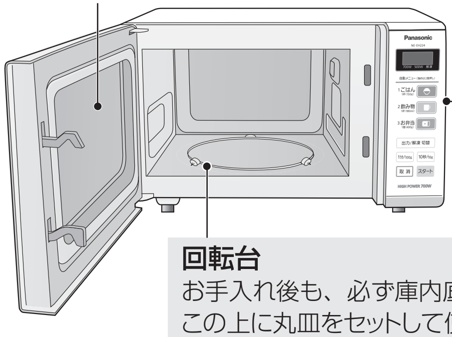


- 切って使うとき



お手入れする

⚠ 警告	⚠ 注意
本体のお手入れは、電源プラグを抜いてから行う 感電のおそれがあります	**庫内に付着した油や食品カスはふき取る** そのまま加熱すると発火や発煙の原因になります ●特に開口カバー部に付着した汚れは すぐにふき取ってください。



回転台
お手入れ後も、必ず庫内底面に置いて、
この上に丸皿をセットして使ってください。

■洗剤、食品カスをすき間や庫内底面軸部に入れないでください
故障の原因になります。

■次の物は使わないでください
（傷が付いたり、色がはげたりします）

✕ 
•シンナー・ベンジン
•住宅・家具用合成洗剤（アルカリ性）

✕ 
•ガラスクリーナー
•スプレー式の洗剤

✕ 
•クレンザー



■丸皿　柔らかいスポンジで、汚れを落とす
使うたびに洗い、水分をふき取ります。

■庫内・回転台　固く絞ったぬれぶきんで、水ぶきする
●付着した油や食品は、すぐにふき取ってください。
庫内底面は丸皿と回転台を外し、ふき取ります。
(コーヒーやソースはシミになる原因)
●汚れがひどい場合は、台所用洗剤(中性)を布にしみ込ませ、固く絞ってふき取ります。
●定期的にお手入れしてください。

■外まわり・ドア　柔らかい布で、水ぶきする
●付着した油や食品は、すぐにふき取ってください。
汚れがひどい場合は、台所用洗剤(中性)を布にしみ込ませ、ふき取ります。
●ドアの内側・外側は、水ぶきのあと、柔らかい布でからぶきをしてください。
●吸気口についたほこりなどは乾いた布で定期的に取り除いてください。(性能を維持するため)

うまく仕上がらない

■1 ごはん／2 飲み物

熱くならない	●食品が金属容器・アルミホイルなどで、おおわれていませんか。 ●容器の種類により仕上がり状態が変わる場合があります。 もう少し加熱したい場合は、レンジ700Wで時間を合わせて加熱してください。
熱くなりすぎる	あたためる分量が少なすぎませんか。分量を確認してください。

■3 お弁当

熱くならない	あたためるお弁当が大きくないですか。400g以上の場合は、レンジ700Wで様子を見ながら加熱してください。

故障かな?

故障かな?と思われたときは、以下の項目に従って、調べてください。

症状	原因
まったく動かない	●停電していませんか。 ●配電盤のブレーカーが切れていませんか。 ●電源プラグが抜けていませんか。 ●表示部に「0」を表示していますか。 自動電源オフ機能が働いている場合はドアを開閉し、「0」表示が出てから操作してください。
食品があたたまらない	表示部に「M」が出ていませんか。 店頭用のモードに設定されています。 〔出力/解凍 切替〕ボタンを1回押し、 〔スタート〕ボタンを4回押して、 さらに〔取消〕ボタン4回押すと「M」表示が消え、解除されます。 
丸皿が回転しない 回転ムラがある	●回転台・丸皿が正しくセットされていますか。 ●食品(容器)が庫内の壁に触れていませんか。 ●回転台のローラーに食品カスや油が付いたままになっていませんか。 ●スタートのタイミングにより右または左に回転します。
火花が出る	●金属容器やアルミホイルなどを使っていませんか。 ●金粉、銀粉の飾りのある容器を使っていませんか。

■次のような表示が出たら、表示内容をお買い求め先にご連絡ください。
〔取消〕ボタンを押すと表示は消えます。

H□□　Hのあとの□□には、2けたの数字が入ります。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理 などは

■まず、お買い求め先へ

ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話（　　　　）　　　－

お買い上げ日　　　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「故障かな?」（P.21）でご確認のあと、
直らないときは、まず電源プラグを抜いて、
お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	電子レンジ
●品番	NE-EH224/NE-TH224/ NE-S380F
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間。ただし、マグネトロンは2年間です。
（一般家庭用以外に使用される場合は除きます）

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、この電子レンジの補修用性能部品
（製品の機能を維持するための部品）を、
製造打ち切り後8年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた、・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター

電話　365日 受付9時～20時

フリーダイヤル　0120-878-365

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「440＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合　06-6907-1187

■FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話

フリーダイヤル　0120-878-554

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

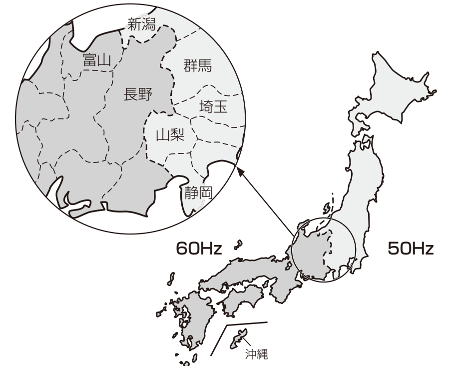
●転居されるときは

転居に伴い電源周波数が変わりますと、所定の性能が得られなかったり、故障の原因になりますので、次の部品の取り替えをお近くの販売店にご相談ください。
（高圧トランス、高圧コンデンサ）

処置に必要な費用

	部品代	取替工料	アース工事費
保証期間内	無料	別料金	別料金
	※旧部品は引き換えとします。		
保証期間外	別料金		

50Hz地区と60Hz地区



静岡県での50Hzと60Hzの境界

• 50Hz地域
富士市、富士宮市、
富士郡芝川町以東

• 60Hz地域
静岡市清水区、
庵原郡富士川町、
由比町以西

電源周波数は東日本では50Hz、西日本では60Hzです。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。